

プログラム名 『線と点のぼち袋』

季節 春 夏 秋 冬 イベント

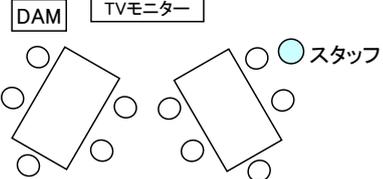
対象 一時予防対象者 二次予防対象者 要支援1 要支援2 要介護1 要介護2 要介護3

人数 10人程度

目的	<ul style="list-style-type: none"> 筆ペンで書く線の表情と、さまざまな紙の組み合わせを楽しむ。 参加者が自ら選択、決定しながら制作をすることで、脳を刺激する。 制作後も生活の中で使用したり、プレゼントしたりすることで周囲とのコミュニケーションを楽しむ。
----	--

	名称	必要数	備考
使用材料	マスキングテープ	全5種	カモ井紙加工(株)
	クラフト封筒カードサイズ	1人1枚~2枚	無印良品
	ワックスペーパーS	1人 4分の1枚	アスクル
	はさみ	1人1本	工作用はさみで可
	筆ペン(濃墨)	1人1本	墨運堂:慶事用
	筆ペン(カラー)	全5色 各2本	株式会社あかしや
	スティックのり	1人1本	株式会社トンボ鉛筆

事前準備	 <ul style="list-style-type: none"> * マスキングテープは、予め15cm程度の長さに切ったものと、小さな形に切ったものを、クリアファイルに貼り付けておくと、色や柄がわかりやすく、複数名で行う場合や、はさみの使用が難しい場合でも、無理なく実施することができます。 * ワックスペーパーは、4分の1の大きさに切っておきます。 * マスキングテープ、クラフト封筒、ワックスペーパー、筆ペンは、指定のものを事前に用意してください。
------	---

会場レイアウト	<p>《 配置例 》</p>  <ul style="list-style-type: none"> * モニターが無理なく見られるようにテーブル、イスを配置。 * モニターが遠すぎると画面が見づらくなるため注意。 * 椅子は、参加者の間に入って声掛けができるよう、適度なゆとりをとって配置する。
---------	---

画面表示の見方		<p>このコンテンツには、オートリピート機能が採用されています。 このマークがついているチャプターは、最大120回リピートされますので、参加者の状況に合わせて【DAM】ボタンを押し、次の手順へ進みます。</p>
		<p>画面で制作手順のポイント解説を行います。 できるだけ画面を見てもらえるように声掛けしましょう。</p>

進め方のポイント	<p>模様の書かれている紙を貼る数、貼る位置に決まりはありません。どこに貼っても間違いではありませんので、参加者ご本人に選んでいただく、決めていただけるよう心がけましょう。 急がせることなく、参加者のペースに合わせて、できる範囲から行いましょう。</p>
----------	---

所要時間		60分		内容	使用材料	画面表示	実施のポイント	声掛け
導入								
	5分	完成作品(例)の紹介 完成作品の使用例紹介				 作品について話をしながら参加者を席まで誘導しましょう。 ※リピート 全員が揃ったら【DAM】ボタンを押し、次の手順へスキップします。 ※スキップ 【DAM】ボタンを押すと、次の手順へスキップします。	「〇〇さんは何に使いたいですか？」 「何でできているんでしょうね？」	
前編								
①ワックスペーパーを楽しむ								
	5分	使用する素材を手にとって観察します。	ワックスペーパー		直接触ってみることで、これから使う素材に興味を持てるよう声をかけましょう。	「どうぞ触ってみてください」 「触り心地はどうですか？」		
		くしゃくしゃに丸めて紙の質感を変化させます		丸めましょう	一度くしゃくしゃにすることで紙に味わいが出てきます。参加者の状況に合わせて行いましょう。	皆さんも一緒にやってみましょう！		
	10分	筆ペン(濃墨)でワックスペーパーにさまざまな線を書きます	ワックスペーパー 筆ペン(濃墨)	こちらをご覧ください 映像に合わせて一緒に書きましょう	6本の線を書いていきます。画面に合わせて進められるように、参加者に声掛けを行います。※少し遅れても慌てないように声を掛けながら進めていきます。	「まず画面を見てみましょう」 皆さんも一緒にやってみましょう！ 筆ペンを持って…準備はいいですか？		
	5分	筆ペン(カラー)で点線を加えていきます	ワックスペーパー 筆ペン(カラー)	色つきの筆ペンを1本選びましょう 好きなところに点線を書き加えてください	点線を2本書いていきます。画面にあわせて進められるように、参加者に声掛けを行います。	皆さんもお好きな色を選んでみましょう 選べたらまずやり方を見てみましょう 皆さんも一緒にやってみましょう！ 大きくても小さくても良いです。		
②ちぎった形を楽しむ								
	10分	ワックスペーパーをちぎります	ワックスペーパー	こちらをご覧ください	まずすぐに切れなくても、それが作品の味わいになります。	「まず画面を見てみましょう」 「皆さん一緒にやってみましょう」		
				みなさんも二つにちぎってみましょう			「もう一度画面を見てみましょう」	
				こちらをご覧ください みなさんも四つにちぎってみましょう			破片の数は、4つでなくても大丈夫です。3つ、5つにしても良いでしょう。	「皆さん一緒にやってみましょう」
					※リピート 9割方書けていたら、【DAM】ボタンを押し、次の手順へスキップします。			
後編								
③テープで線を入れる								
	5分	マスキングテープから好きな色を選び、ぼち袋に貼り付けます。	ぼち袋 マスキングテープ	こちらをご覧ください テープを一本選んでみましょう こちらをご覧ください みなさんも貼ってみましょう	なかなか選べない方がいても、急がせず、じっくり考えて使う色を決めていただきます。	「まずはやり方を見てみましょう」 「では皆さんも選んでみましょう」 「もう一度画面を見てみましょう」 「では皆さんも貼ってみましょう」		
					※リピート 9割方貼れていたら、【DAM】ボタンを押し、次の手順へスキップします。			
④模様を貼る								
	10分	ワックスペーパーに書いた模様を、ぼち袋に貼り付けます。	ワックスペーパー スティックのり ぼち袋	こちらをご覧ください みなさんも貼ってみましょう	作業が進まない方がいても、急がせず、じっくり考えて貼る場所、枚数を決めていただきます。	「まずはやり方を見てみましょう」 「では皆さんも貼ってみましょう」		
					※リピート 9割方できていたら、【DAM】ボタンを押し、次の手順へスキップします。			
⑤アクセントを加える								
	5分	マスキングテープでアクセントを加えます。	はさみ マスキングテープ ぼち袋	こちらをご覧ください アクセントを貼ってみましょう	作業が進まない方がいても、急がせず、じっくり考えて貼る場所を決めていただきます。	「まずはやり方を見てみましょう」 「では皆さんも貼ってみましょう」		
					※リピート 9割方貼れていたら、【DAM】ボタンを押し、次の手順へスキップします。			
⑥鑑賞してみよう								
	5分	完成作品を見ながらコミュニケーションを楽しみます。			全員で作品を囲みながら話を楽しみましょう。 ※可能な場合には席を立って一箇所に集まるようにすると、話しやすいでしょう。	模様の入り方や、色合いなど、それぞれの作品の良い部分、何に使いたいか等話し合ってみましょう。		